

## 【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表 かんぱち先生の自然学校・函館校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	100			児童発達支援事業での1名当り2.47㎡を参考。当施設の床面積は1名当り8.25㎡あり適切であると判断できる。
	②	職員の配置数は適切であるか	20	80		人員配置基準は満たしているが、充実した支援を行う為に職員1名の増員を要望中である。
	③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	20	60	静養室へは2段、職員室へは1段の階段があるが、指導訓練室はほぼバリアフリーの環境整備できている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	20	60	20	朝礼、終礼の際に話し合いを行っているが、PDCAに特化した活動としては不十分な点があり改善を検討中。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	40		60	平成29年11月にアンケートを配布しました。今後1年に1度(11月を予定)定期的に実施し意向を把握し改善につなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20		80	平成30年3月中にホームページ上で公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		20	80	外部評価は受けておりませんが、受けるべきだと考えております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20	80		外部研修の機会を確保するように努めております。また内部研修は平成29年9月の実地指導を受け更に研修の機会を増やし行っております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	20	80		平成29年9月の実地指導での指摘事項により、ガイドラインや自己点検表を把握した上で職員と児発管とでアセスメントと計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	60		アセスメントツールに関しては標準化されたものに変更を検討中。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80	20		支援計画に基づき具体的な活動について、職員全体で共有し日々意見交換を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		100		活動に使用するツールや創作の種類を増やすように努めております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		100		日々の課題は用意してあるが休日、長期休暇に特化したものではないので改善が必要と考えてます。休暇時は午後から野外活動を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	20	80		状況に応じての考慮はしているが、個別活動が優先する傾向にある。随時組み合わせを検討しながら調整を行います。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			朝礼時に支援内容と分担を決定している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100			終礼時に児童発達支援管理責任者も参加し、支援の達成度等の報告を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80	20		個人日誌への記入に関しては職員間で何度か検討しました。以前は療育内容が漠然としていたので、療育に特化した記入様式に変更しました。
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	40	60		日々の活動を児童発達支援管理責任者への報告しており、計画変更と判断した場合は短い期間でのモニタリングを行い変更できるように整備した。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		80	20	地域交流の機会の提供に関して、まだ不十分と考えております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			児童発達支援管理責任者及び児童指導員が参加いたします。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100			学校のより年間、月間、週間の行事予定を頂き把握に努めております。稀に変更があった場合は保護者より連絡帳や電話等により連絡をいただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	20	80		開設時より対象者はおりませんでした。今後備え体制を整えて参ります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		80	20	利用施設との情報共有について十分とは言い難い。相談支援事業所と連携し共有の場の提供をお願いする。

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表 かんぱち先生の自然学校・函館校

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
関係機関や保護者との連携	②④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100			学校と連携しサービス担当者会議の場で、障害福祉サービス事業所等と情報や支援内容について報告している。
	②⑤ 児童発達センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		80	20	学校からの助言提供は必要ある毎に行っているが、専門機関での助言や研修受講はほとんどありませんでした。今後改善し報告致します。
	②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100	児童館との交流が出来れば積極的に活動していきたいと考えております。
	②⑦ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		80	20	函館市・北斗市・七飯町(2市1町)の放課後等デイサービス事業所連絡会への参加は積極的に行っている。
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			日々の活動内容や子どもの変化等は連絡帳により報告し返答をいただいておりますが、無回答の場合は送迎時に確認を行っている。
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		80	20	保護者支援について必要性を感じており、ペアレント・トレーニングセミナーへの参加を検討中です。
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	40	60		運営規定の重要事項については、重要事項説明書により左記内容を説明しております。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			送迎時や連絡帳、電話等により寄せられた悩みについては全職員と共有し、出来る限りの助言と支援を行っている。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100			茶話会(3ヶ月に1度)を開催し、その場で保護者間の交流を行っていますが出席者がなかなか増えていません。今後も茶話会の必要性を訴えていきます
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			苦情解決の体制及び手順は重要事項説明書により保護者へ説明を行っております。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20	80		4ヶ月に1度、独自のカレンダーを作成し行事予定等を発信しているが、会報については検討中である。
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	80	20		過去に同じ学校の利用者の名前を保護者に話した経緯があった。職員会議の中で研修しそれ以降は配慮ができています。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80	20		障害者差別解消法での合理的配慮への研修を行い知的障害、発達障害者へのコミュニケーションの留意点について配慮している。
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		40	60	テナント契約先である商業施設との連携を行い、今後の行事に招待できる環境整備を検討中です。
非常時等の対応	③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		100		マニュアル整備は出来ているが保護者への周知の部分では不十分と考えている。周知方法を検討中です。
	③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80	20		消防法での訓練は商業施設が計画している訓練に参加している。また自然災害を想定した避難訓練を平成30年1月20日に実施いたしました。
	④⑰ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			平成29年度北海道障がい者虐待防止、権利擁護研修(施設従事者研修)への参加者による内部研修を行いました。
	④⑱ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		80	20	子どもの状態を鑑みて、現在対象利用者はおりません。今後やむを得ず身体拘束が必要な場合は障害者虐待の防止と対応の手引きにより適切な対応を行います。月1度虐待研修を行い職員周知も行う。
	④⑲ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		80	20	アレルギーについては保護者からの情報に頼っている。今後は保護者からの同意を得られる場合は指示書の提出を依頼するように努める。
	④⑲ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80	20		ヒヤリハットの記入用紙は指導訓練室に常に用意されておりますが、まだまだ事例が少ないと感じている。職員間での声掛けにより些細な事例も記入するよう徹底いたしました。

【保護者向け】放課後等デイサービス評価表 かんぱち先生の自然学校・函館校

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3		・よくわかりません (無回答2)
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	5		・配水管からの臭いが気になる。 ・よくわかりません (無回答2)
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	3		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	4		・野外活動や季節の行事が多くてうれしい。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	8	3	(無回答1)
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2		
	⑧	日頃から子どもの状況や保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	16	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	4		・子育ての壁にぶちあたっているが、職員の方からの助言で助かった。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	4		・茶話会の案内を頂いているが、仕事等の事情によりまだ参加できていません。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	2		・新聞で報道があった事件に対して法人側からの説明が一切なかった。正直あきれている。 ・野外活動の場として七飯の農場の施設のトイレの改修について何の回答も無い。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	3		・新聞で報道された事件について先生方から説明を受けたが、本来は法人側に説明責任があるのでは。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	6		・ホームページが充実していたら、もっと情報が得られたのに。
非常時 等の 対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	12	5	1	・同じ学校の〇〇君も通所していると説明されたが、私の子どもの名前は出して欲しくない。 ・正直、よくわからない
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	5	1	(無回答1)
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	5		・以前、ドンキ・ホーテで火災があったので心配です。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18			・特に野外活動が楽しみのようです。 ・学校以外の友達と遊べて良い刺激になっている。 ・第2の我が家のように楽しく通わせて頂いている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	1	1	・事業所の先生方の対応には満足していますが、法人の運営方法には不信感があります。